

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和 6 年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単位	本年度の 目標値	本年度の 実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先	
草津市	②学校と地域の 課題	学校支援ボランティアの確保・育成	高齢化により、ボランティア活動から退く方が増えており、社会全体で子どもを育ていく体制を確かなものにするために、活動への協力者、後継者の育成や人材の発掘が課題となっている。	事業毎（短時間毎で）ボランティアを募集する等、参加しやすい環境を整えた。また、事業を通して学校と地域との関わりを増やし、地域の方に事業に対して好印象を持ってもらい、継続的に協力してもらえるようにしている。	地域との連携や市内にある大学とのつながり、地域コーディネーター間のつながりなどを深め、各小・中学校の事業において新しい人材（活動への協力者）を増やす。あるいは、各小・中学校の事業において活動に協力していただく分野を増やす。	活動の協力者の裾野の広がりや新しい人材を増やすことによって、子どもの学びがより豊かになる。	県アンケート「地域と学校の連携協働によって、子どもの主体的な学びにつながったり、子どもの学びが深まったりしたか」の設問に対する「そう思う」、「まあそう思う」への回答数	90	%	100	100	3	地域の方と接しながら様々なことを体験させてもらうことで、子どもたちの学習に対する意欲や主体的に取り組もうとする気持ちが高まった。また、子どもが学んだことを地域に発信し、地域に還元することによって、協力したり発表を聞いた地域の方々も地域をより良くする為の行動意欲が向上し、良い効果が生まれている。地域でかかわっていただいている方の高齢化が課題。	https://www.city.kusatsu.shi.jp/kosodate/kozagakushu/shougaigakushu/chiikikyoudougakkou/kyodokosuishin.html

☐本年度の実績値

☐アウトカムの達成度に関する評価
当該年度における達成度（課題の解決、改善の進捗度）

□本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。
実績値が集計のため記載できない場合は、「集計中」と記入してください。集計の場合は、集計が完了次第、改めて提出をしてください。

□アウトカムの達成度に関する評価

当該年度におけるアウトカムの達成度（課題の解決・改善の進捗度）を、5段階で自己評価してください。実績値が集計のため記載できない場合は、空欄で構いませんが、集計が完了次第、改めて提出してください。

- 5：本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 4：本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 3：本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 2：本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 1：本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直しが求められる

□アウトカムの達成度に関する分析（事業における成果、課題、改善点等）

- ・「アウトカムの達成度に関する評価」に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。
- ・目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点などを記載してください。目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点などを記載してください。
- ・実績値が集計のため記載できない場合は、その旨を記載した上で、実績値以外の資料を基に、実績報告時における成果、課題、改善点等を記載してください。実績値の集計が完了次第、改めて提出してください。